

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2025 年 11 月 25 日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	胃軸捻転症に対する術式別成績の比較検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	三宅 啓
研究期間	2025 年 11 月 ～ 2026 年 6 月
対象者	2001 年から 2025 年までに当院で胃軸捻転症に対し手術を行った患者様
当該研究の意義・目的	<p>胃軸捻転症は胃のおなかの中での固定に問題があり、胃の一部もしくは全体が 180 度以上の回転を来した状態です。安定した哺乳や体重増加を得られない場合は外科治療として胃の腹壁への固定が必要になります。胃の固定に関しては胃をどの位置におなかの壁に固定するのかや、同時に胃ろうをつくるかどうかなどでいくつかの術式がありますが、どのような術式が最適かは明らかにされておらず、2024 年に発表された日本小児外科学会および日本小児放射線学会によるガイドラインでも術式に関して明確な推奨を提示することは出来ないとされています。</p> <p>本研究では適切な外科治療選択の一助とするべく当院で経験した胃軸捻転症に対する胃固定の術式ごとの選択基準やそれぞれの術式の成績を明らかにすることを目的とします。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>対象患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 背景因子（性別、年齢、胃軸捻転のタイプ、併存疾患など）、・ 臨床データ（胃固定の術式、手術時間、手術時間など）・ 転帰（術後合併症、治療効果など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立こども病院 小児外科 三宅 啓 代表 054-247-6251</p>

